

様式第 1 0

循環型社会形成推進地域計画改善計画書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
串間市	串間市	令和 2 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日	令和 2 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日

1 目標の達成状況
(ごみ処理)

指 標	現 状 (令和 年度)	目 標 (令和 年度) A	実 績 (令和 年度) B	実績 / 目標
排出量	事業系 総排出量	t	t	%
	1 事業所当たりの排出量	t	t	%
	生活系 総排出量	t	t	%
	1 事業所当たりの排出量	kg/人	kg/人	%
	合 計 事業系生活系総排出量合計	t	t	%
再生利用量	直接資源化量	t	t	%
	総資源化量	t	t	%
エネルギー回収量	エネルギー回収量 (年間の発電電力量)	MWh	MWh	
最終処分量	埋立最終処分量	t	t	%

※目標未達成の指標のみを記載。

(生活排水処理)

指 標	現 状 (令和 年度)	目 標 (令和 年度) A	実 績 (令和 年度) B	実績 / 目標
総人口				—
公共下水道	汚水衛生処理人口			%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	%	%	%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口	536	585	-95. 9%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	3. 05%	3. 5%	10. 3%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	7680	8698	49. 7%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	42. 0%	51. 5%	103. 1%
未処理人口	汚水衛生未処理人口			%

※目標未達成の指標のみを記載。

2 目標が達成できなかった要因

<生活排水処理>

(1) 集落排水施設等

集落排水施設等の整備率は100%であるため、人口減少が進んだことが要因と考えられる。

また、人口減少が進む中でも、郊外から中心市街地への移住人口があるため、集落排水地域の人口減少の割合が多くなっている。

計画時の目標値として、人口増加ではなく、人口減少の数値を設定する必要があったと考えられる。

(2) 合併処理浄化槽等

集落排水施設等と同様に人口減少が進んだこと、中心市街地への移住等が要因と考えられる。

令和2年度の現状人口からは、合併処理浄化槽への転換もあり増加はしているが、今後は人口減少していくと考えられる。

3 目標達成に向けた方策

目標達成年度 令和11年度まで

<生活排水処理>

令和7年4月1日から開始の串間市循環型社会形成推進地域計画においては、補助対象を拡充し、自治公民館等の合併処理浄化槽への転換も補助金を交付することとしており、より合併処理浄化槽への転換を促進し、公共用水域の水質保全及び、快適で住みよい生活環境の確保に努める。

公共下水道、集落排水施設等の整備率は100%のため、合併処理浄化槽の転換促進により、汚水処理人口普及率の向上を図る。

(都道府県知事の所見)

今回の実績報告を踏まえた新たな地域計画のもと、目標達成のために、人口減少を考慮した上で、単独処理浄化槽やくみ取り槽からの転換を、効果的に推進する必要があります。

普及啓発や浄化槽台帳整備に力を入れ、浄化槽整備基数増加を図り、さらなる未処理解消に取り組んでいただくようお願いします。